

第6章 計画の推進と評価

ちゃんと朝食を食べましょう。
よるは早めに寝ましょう。
うけよう、がん検診。
ふあんや心配があったら
家族や身近な人たちに
相談しましょう。



マスコットキャラクター「ふーちゃん」

第6章 計画の推進と評価

1 計画の推進について

健康づくりは、一人ひとりが主体的に取り組むことが必要で、一人ひとりが日々の生活習慣を見直し改善し健康づくりに取り組むことが基本です。

しかし、個人だけでは適正な生活習慣を身につけ、生涯にわたって継続していくことは困難です。そのため、個人の健康づくりを家族・地域・行政など社会全体で支援していくことが大切です。

健康増進法 第2条（国民の責務）

国民は、健康な生活習慣の重要性に対する関心と理解を深め、生涯にわたって、自らの健康状態を自覚するとともに、健康の増進に努めなければならない。

第3次プランを推進するに当たっては、家族や地域のつながりにも目を向けて取り組んでいきます。また、健康づくりに関する取組はさまざまな関係部署で行っているため、庁内横断的な連携が必要です。

（1）調布市民健康づくり始める会の支援

このプランの推進のため、平成18年に結成された調布市民健康づくり始める会の活動は、仲間とともに楽しみながら健康づくりを始め、継続できることをめざしています。今後も、新たな仲間が加わり、市民が中心となって活動を継続していけるよう支援していきます。

（2）既存の市民活動グループとの連携

市内には仲間づくりを目的とした市民活動グループや催しが数多くあります。このような活動等を健康づくりに活用していけるよう、必要な時に求める活動の情報が手に入れられるよう、工夫を凝らした情報を提供していきます。

また、市民が集う場へ出向いて健康情報を届けることにより、関心が低い人にも情報が届くことが期待されます。今後、自治会の他、地域福祉においては、地域コミュニティ等の共通基盤である小学校区を基礎とした8つの福祉圏域で活動を推進していくことから、健康づくりに関しても、小学校区単位で実施されている地区協議会等との連携を強化し、より地域と密着した健康づくりを進めていきます。

第6章 計画の推進と評価

(3) 企業との連携

普段生活をする中で、健康情報を目にすることができると、健康に関心の低い人にも情報が届くことが期待されます。これまでも、市内各駅やスーパー、スポーツクラブなどに健康に関するチラシを置いてもらうなどの取組や、健康増進という共通の願いを持つ企業などの団体との協働による取組を行ってきました。今後もさらに多くの店舗や企業などの団体と連携できるよう取組を推進していきます。



【企業と連携した健康イベントコーナーの様子】



【イベントテント内の様子】

(4) 庁内の横断的連携

健康づくりに関する取組は健康推進課が行うほかにも、さまざまな関係部署で行っています。今後は、より多くの人に周知や普及啓発ができるように、庁内の横断的な連携を推進していきます。

2 第3次プランの推進体制と評価

プランの着実な推進を図るため、進行管理に当たっては、第3次プランで定める成果指標のうち達成状況を毎年度把握できるものについては、毎年度数値の確認を行い進捗状況を把握したうえで次年度の取組にいかしていくなど、PDCAサイクル※（計画—実施—評価—見直し）による効率的な運営をめざします。

また、健康づくりは、教育、子育て、高齢福祉などの分野とも密接な関係があることから、庁内外の関係部署（機関）のメンバーで構成する「調布市民健康づくりプラン推進連絡会」を通じて横断的な連携に引き続き取り組んでいきます。

